



MESSAGE NOTES

キリストによって義と認められる

第二コリントへの手紙 5:21

ジェームス・ブラウン

「クリスチャン」か「キリストにある」か

クリスチャンという言葉は小さいキリストだという意味で、もともと侮辱として、初代教会を敵対した人々が作った言葉です。その理由でクリスチャンという言葉は聖書で二回だけ書いてあり、これは神様の呼び方ではありません。聖書で神様が私達のことを定義するとき、遥かに多く書かれている言葉は「キリストにある」です。私達のアイデンティティにこれはどんな意味をもたらすかということ、神様は私達のことを見たらイエス様のお姿が見られます、イエス様はご自分の本質を私達の中に与えて下さっているからです。

第一コリントへの手紙 1:30 しかしあなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとになりました。

キリストは私達の知恵、私達の義、私達の聖めと贖いとなって下さいました。私達はこれらのものために自分に頼らなくなったという意味です。

罪人か聖徒か

ですから私達はキリストによって神の義となり、イエス様のおかげで神様の目には聖い、非難するところのないものとして見られています。私達のキリストにあるアイデンティティは罪人ではなく、聖徒です。そのように生きるために悟らなければなりません、自分が罪人だと思っていたらそのような生き方をしてしまいましたが、自分が聖徒と分かったら、ますます聖徒のような生き方をし始めます。

第一コリント人への手紙 5:7 新しい粉のかたまりのままでいるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたはパン種のないものだからです。

聖められている中で義と認められる

義と認められるのは瞬間的なことです、クリスチャンになった瞬間に神様の敵から神様の子供に変わります。しかし聖められるというのは少しずつ変えられていくことです、私達は少しずつキリストと同じかたちに姿を変えられていきます。この完全に聖められていく中で、私達は失敗したり、罪をおかしたりします、まだ完璧にはほど遠いですが、それが私達の義と認められることには関係ありません - 聖なる、神様に受け入れられる地位には関係ないです。

ヘブル人への手紙 10:14 キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。